

港町ミュージアム10 学習指導案

- 1 場所：多目的室，教室，図工室
- 2 題材名：思い出のあの一瞬
- 3 題材について

中学年になると児童の行動範囲は一段と広がり，積極的に友だちとの遊びや学習場面，身の回りの人との関わりの中に楽しさを見出したり，感動を体験したりする場面が多く見られる。そのような活動場면을それが伝わるように画面構成や色，表現方法を工夫して表すことは自分の生活をしっかりと見つめ，振り返り，自己肯定感を育てることにつながると考える。しかし，この時期の児童は一方で表現したいことや思いと自分の表現力のギャップに悩む時期でもある。



そこで鑑賞活動と表現活動を関連付け，表現活動に対する興味・関心や意欲を高めたい。指導に当たってはまず，導入の段階でマックス・ベックマンの版画「ヤールマルクト」を鑑賞させ表現の手がかりとさせたい。

この作品を鑑賞する利点として次の4点が考えられる。

生活場面を描いている。

人物（動物）の形や動きを力強い線を用いて見事に表現している。

10枚組版画集なので表現がバラエティに富み，続きの一枚を描くことに抵抗感がない。

児童が親しむアニメやマンガに通じるものがある。

この作品の表現方法のよさを見たり感じたりさせ，その続きを描かせることで，自分の身の回りから意欲的に表現する題材を見つけたり，自分の表現に生かしたりさせたい。

また，お互いにモデルになって自分の動きを描いてもらう活動や相互鑑賞，図録等の美術作品の鑑賞を随時取り入れることで友だちの作品や美術作品の表現のよさに気づかせ，自分の表現にも生かさせたい。

さらに自分の作品や友だちの作品について，そのよさや工夫，表現の違いに関心をもち，言葉で表現したり，話し合ったりする鑑賞の能力を育てたい。

4 学習目標

- ・ 自分の生活を振り返り，友だちなど誰かといっしょに活動して心に残った場面を思い起こし絵に表す。
- ・ 伝えたい内容を効果的に表すため，鑑賞したことを生かしながら，人や物，周りの様子の色や形や動き，大きさなどを工夫して表す。
- ・ 作品を見せ合いながら話し合い，自分や友達の表現のよさを共感する。

5 評価の観点

- ・ 身の回りの出来事から，感動したことや心に残った場面を思い起こし絵に表す。[造形への関心・意欲・態度][発想や構想の能力]
- ・ 鑑賞した作品のよさを見つけ，自分の作品に生かす。[造形への関心・意欲・態度][鑑賞の能力]
- ・ 表したい場面の様子が伝わるような描き方を考える。[発想や構想の能力]
- ・ 人や物，周りの様子などの色や形や動き，大きさなどを工夫して表す。[創造的な技能]
- ・ 友達や自分の作品などについて関心をもち表現のよさに気づき言葉で表現したり，話し合ったりする。[鑑賞の能力]

6 指導計画（全9時間）

- (1) 教科書などの作品を鑑賞し，生活から絵に表したい出来事を見つけようとするとともに，その表現のよさを知る。（2時間）
- (2) 心に残っている場面を様子が伝わるように人や物の形や動き，大きさなどを工夫して下絵に表す。（2時間）
- (3) 表したいことが伝わるような色彩の組み合わせや表現方法を工夫して彩色する。（4時間）
- (4) 自分の作品や友だちの作品の表現の工夫やよさについて話し合う。（1時間）

7 学習の展開

(1) 4年1組の鳥獣人物戯画を描こう(2時間)

本時の目標

- ・「ヤールマルクト」の表現のよさを見つける。
- ・人物の動きが分かるような描き方を工夫して自分なりの「ヤールマルクト」画を絵で表す。

本時の展開

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童等への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
<p>1 「人」をモチーフにした作品の複製を鑑賞する。</p> <p>2 マックス・ベックマン「ヤールマルクト」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・描かれている人物が何をしているか話し合う。 ・人物の動きをうまく表現しているところを見つける。 <p>3 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>動きの描き方を工夫してヤールマルクトのつづきを作ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場面が描きたいか話し合う。 ・グループで相互にモデルになりながら描きたい場面を描く。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いにできた作品を鑑賞し合う。 ・振り返りカードを書く(動きを表すためにどのような工夫をしたか) 	<p>人物の描き方(ポーズ)に工夫があることに気づかせる。</p> <p>紙芝居風にして作品を少しずつ鑑賞させることで期待感を持たせる。</p> <p>線描の巧みさで動きや背景を表現し,人物の様子を表していることに気づかせる。(「どこで」「なにを」「どのように」が体の曲がり方や向き,手足の位置の描き方等を工夫して,うまく描かれていることをしっかり抑える。)</p> <p>日常生活の中で印象に残っている場面や楽しかったことをできるだけ多く思い起こさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 意見が出にくい場合にはヒントを与える。(自分たちが好きな遊びをしているところ,楽しかった学習場面等) <p>動きの様子が表れるようにモデルの体の向きや曲がり方をしっかり観察して表現するとよいことに気づかせる。長くポーズを取ることが難しい場合はモデルの動きをデジタルカメラで撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ モデルの体の動きの特徴ある一部だけを捉え,そこだけ描き,続きは友だちに描いてもらってもよいことにする。 <p>友だちの表したかったことに共感しながら,その表現の良さを見つけ合う。</p> <p>次時は各自が心に残った動的な場面を絵に表すことを予告する。</p>	<p>「ヤールマルクト」を鑑賞することに興味・関心を持つ。[造形への関心・意欲・態度] (行動観察)</p> <p>人物の表現のよさを見つける [鑑賞の能力] (行動観察) (発表)</p> <p>表したい場面を見つける。[発想や構想の能力] (発表)</p> <p>人物の動きが表れるような表現方法を工夫する。[創造的な技能] (行動観察) (作品)</p> <p>友だちの作品の表現のよさを見つける。[鑑賞の能力] (発表)</p>	<p>作品の複製</p> <p>参考作品</p> <p>八つ切り画用紙 サインペンまたは筆ペン デジタルカメラ</p>

(2) あの一瞬を描こう(下絵)(2時間)

本時の目標

- ・心に残っている場面を様子が伝わるように人物の動きの表し方を工夫して下絵を描く。

本時の展開

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童等への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
<p>1 自分の生活を振り返り、心に残った動的な場面について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体験を様子が相手に伝わるように話す。「いつ」「だれが」「どこで」「何を」「どのように」) <p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>心に残ったことが伝わるように動きの描き方を工夫して下絵を描こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 一番描きたいことを簡単な言葉でカードに書く。 A4程度の紙に構想を描いてみる。 自分が描きたい人物の動きについては友だちにモデルになってもらう。 <p>・ 構想が決まったら四つ切り画用紙に下絵を描く。</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いにできた作品を鑑賞しあう。 振り返りカードを書く。(動きを表すためにどんな工夫をしたか。表現の参考にした作品はあったか) 	<p>できるだけ具体的な場面について話せるように補助的な質問をする。</p> <p>前時に考えた動物たちの活動場面も参考になることを知らせ具体的な動きをイメージさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 何人かの児童に話をさせ、イメージ作りのヒントにさせる。 <p>日常生活の中で印象に残っている場面や楽しかったことをできるだけ多く思い起こさせる。</p> <p>人物の動きをうまく表現した参考作品を数点用意しておき、随時鑑賞してよいことを伝える。</p> <p>人物の動きが伝わるよう体の各部位の形や大きさ、位置、向きを工夫することをアドバイスする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 人物と周りの様子を重ねて描くのが難しい場合はまず、人物を描かせ周りの様子を人物に重ねて別の色で描かせる。 ◆ テーマが決まらない児童や自分が考えている場面が思い通りに表現できない児童には前時に描いた作品や参考作品の中から表現のヒントになりそうな作品を示す。 <p>構想の中から自分の思いが一番伝わる部分や一枚を選び下絵を描かせる。</p> <p>友だちの表したかったことに共感しながら、その表現の良さを見つけ合う。(制作途中でも自分の表現に生かすため随時鑑賞してもよいことを知らせておく)</p> <p>次時は表したいことが伝わるような彩色を工夫することを予告する。</p>	<p>絵に表したい場面を決める。[造形への関心・意欲・態度] [発想や構想の能力](発表)</p> <p>表したい場面を見つけた。[発想や構想の能力](発表) 人物の動きが表れるような表現方法を工夫する。[創造的な技能](行動観察)(作品)</p> <p>友だちの作品の表現のよさを見つける。[鑑賞の能力](発表)</p>	<p>前時に作った作品</p> <p>カード A4用紙 四つ切画用紙 えんぴつ サインペン または筆ペン</p>

(3) あの一瞬を描こう(彩色)(4時間)

本時の目標

- 表したいことが伝わるような色彩の組み合わせや表現方法を工夫して彩色する。

本時の展開

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童等への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
<p>1 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>心に残ったことが伝わるように描き方を工夫して彩色しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心となるものが目立つような色や筆使いを工夫して彩色する。 ・ 描きすすめながら、伝えたいことが表現されているか振り返る。 <p>2 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表したいことが伝わる描き方になっているか出来上がった自分の作品を見て作品カードを書き振り返る。(彩色の参考になった作品はあるか。どこが参考になったか) 	<p>中心となるものと周りのものの色の組み合わせや筆使いを考え、試し紙に塗って表現効果確かめてから彩色させる。</p> <p>◆ 広い部分の色を塗り、その色が乾いてから人物や周りの様子を彩色する重色の方法や広い部分から塗る方法、中心となるものを明るい色で塗る方法など個別指導する。</p> <p>児童と表したかったことや工夫したことについて話しながら、描き加えるとよいところをアドバイスする。</p> <p>彩色の参考となりそうな図版や複製を用意しておき、随時鑑賞してよいことを知らせるとともに個別指導に利用する。</p> <p>表現したいことが伝わるような作品名を考える。</p> <p>伝えたいことが伝わるような色や形や動き、大きさ、構図、筆使いなどの表現方法の工夫について書かせる。</p>	<p>彩色の方法を工夫して絵に表す。[創造的な技能](行動観察)(作品)</p> <p>自分の作品の表現の工夫を話す。[鑑賞の能力](作品カード)</p>	<p>下絵 水彩絵の具バス</p> <p>作品カード</p>

(4) 作品を見せ合おう(1時間)

本時の目標

- ・ 自分の作品や友だちの作品の表現の工夫やよさについて話し合う。

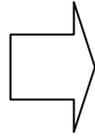
本時の展開

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童等への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
<p>1 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>作品を見せ合いながら心に残ったことについて話し合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの作品を見ながらどんな場面を描いた絵か、どんなところを工夫しているか話し合う。 <p>2 本時のまとめをする。</p> <p>話し合ったことをもとに友だちの作品について鑑賞カードを書く。</p>	<p>前時に書いた作品カードをもとに自分の作品を友だちに見せながら話させる。</p> <p>友達の話も参考にしながらその表現のよいところに関心を持って見させたり、話したりさせる。</p> <p>友だちの作品のテーマや色や形や動き、大きさ、構図、筆使いなどのよいところについて書かせる。</p>	<p>自分の作品について表現したかったことや工夫を話す。[鑑賞の能力](発表)</p> <p>友だちの作品の表現のよいところを見つける。[鑑賞の能力](鑑賞カード)</p>	<p>作品 作品カード</p> <p>鑑賞カード</p>

下絵段階で鑑賞作品を表現に生かした事例



和高節二 「仔牛誕生」

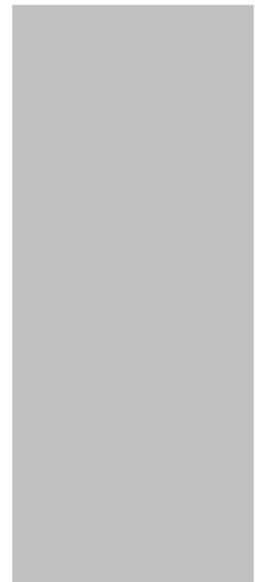
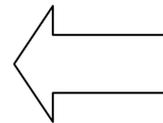


彩色段階で鑑賞作品を表現に生かした事例

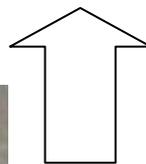


児童作品「すなはまからかいた海」

檜山武夫「陸橋」



南薫造「白壁の農家」



速水御舟「隠岐の海」